

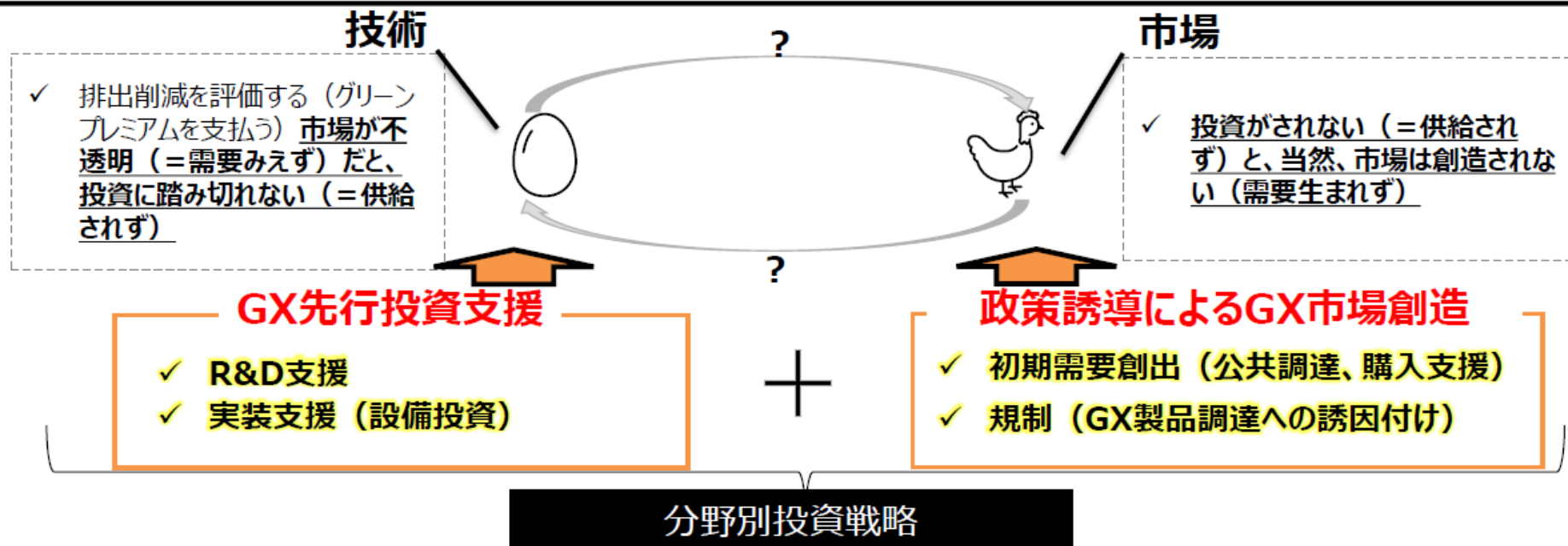
CCSに関する GX分野別投資戦略について

令和5年11月

資源エネルギー庁 資源・燃料部 燃料環境適合利用推進課

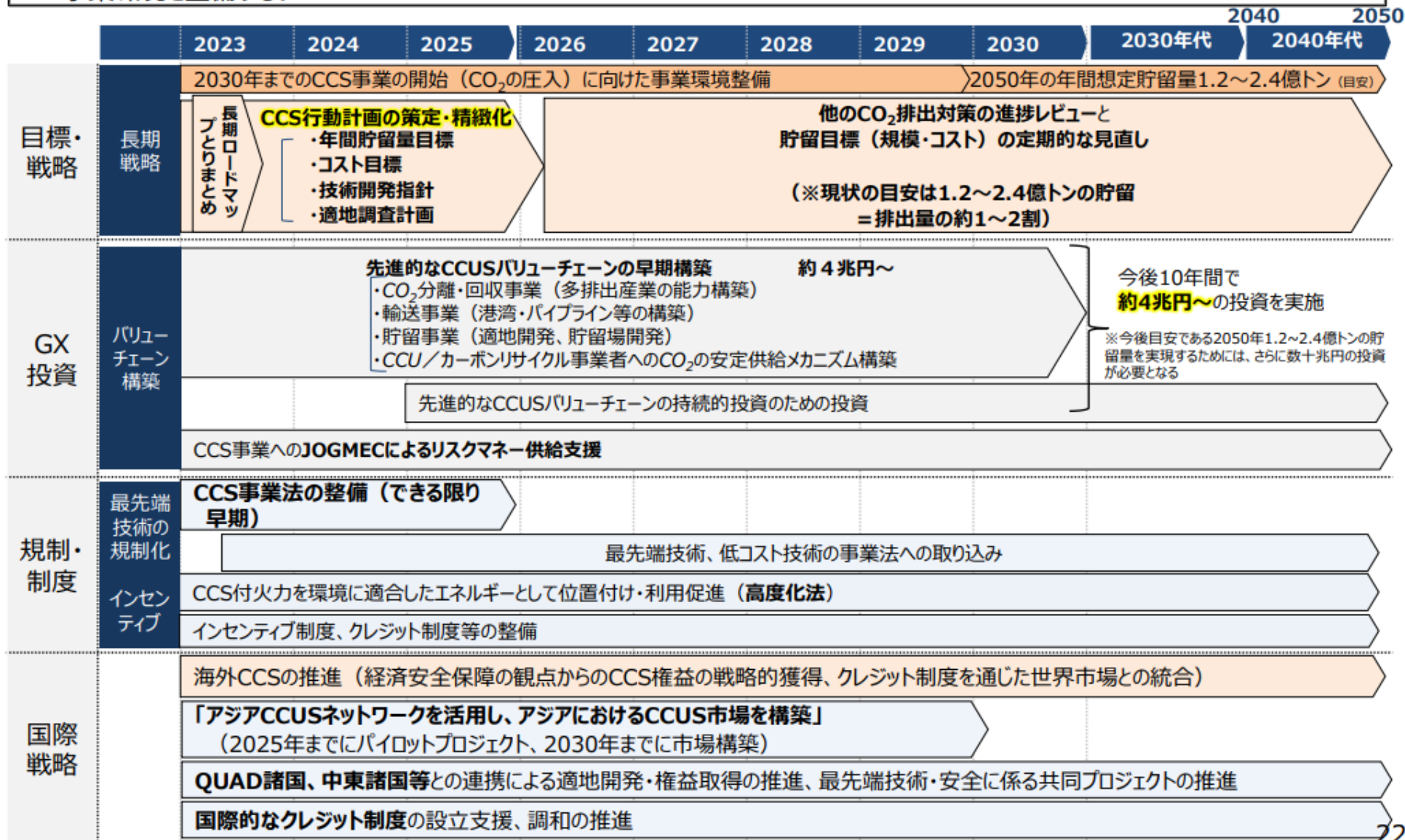
CCS政策室

- 今後も日本経済の成長を支える上で、ものづくり産業は不可欠な存在。世界でGXが進む上では、成長するGX市場に対応できるGXサプライチェーンを早急に立ち上げるとともに、新たなGX分野での市場創造を行う必要がある。
- その際、特にCO2排出削減でも大きなカギを握る鉄や化学等の素材分野においては、
 - ・GX製品（グリーンスチール/ケミカル等）を生み出す新たなサプライチェーンには、製造プロセスの革新が必要。それには大規模な研究開発・設備投資が必要で、製品のコストアップにつながる
 - ・コストアップするGX製品でも素材の性能は変わらないため、評価する市場がないと、販売見通しが立たず投資に踏み切れない
→ 『ニワトリとタマゴ』の関係（供給がないと、需要は生まれないが、需要が見えないと、供給はされない）
- また、使用段階の排出削減に寄与する産業においても、世界市場獲得と排出削減の両立に向け、投資を進めていくことが必要。
- そのため、先行投資の支援策と、市場を作るための「規制/制度」とを一体的に講じ、需要と供給の好循環を生み出す。
→ 分野別の投資戦略の狙い
- 当該戦略分野の内、排出削減と産業競争力強化双方に大胆な投資計画を迅速に展開する先行企業群に対し、投資促進策を重点化し、日本全体のGXを牽引。



【今後の道行き】 事例20：CCS

- 2050年カーボンニュートラルの実現に必要なとなるCCSの年間貯留量の確保に向けて、今後10年で、先進的なCCUSバリューチェーンやアジアにおけるCCUS市場を構築するとともに、できる限り早期にCCS事業法を整備し、2030年までの事業開始に向けた事業環境を整備する。



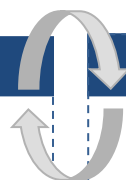
CCSの分野別投資戦略（イメージ）

- 分野別投資戦略も踏まえて、先進的CCS事業を中心とした先行投資支援と、CCS事業法案(仮称)を中心とした事業環境整備を進めるとともに、諸外国を参考として最適な制度を組み合わせた稼働時支援の在り方等を検討し、2030年までのCCS事業開始を目指す。

GX先行投資支援

- R&D支援
- 実装支援（設備投資）

- モデル性のある先進的CCS事業を支援
- 地質構造調査の実施
- コスト削減に向けた研究開発
- CCS事業に対する国民理解増進
- アジアCCUSネットワークの構築
- JOGMECによるリスクマネー供給 など



政策誘導によるGX市場創造

- 初期需要創出（公共調達、購入支援）
- 規制（GX製品調達への誘因付け）

- CCS事業法案（仮称）
- 諸外国を参考として最適な制度を組み合わせた稼働時支援の在り方検討
- CCSを伴う製品の価値向上に向けた検討 など